

僕が童貞を捨てた日

息子に中出しさせる母親の狂気



近親相姦／腋毛熟女／孕ませ

俺の名前は青木雄太。
母さんと二人暮らしの母子家庭で育って、今は
近所の学校へ通う学生をしている。
父親こそ居ないものの何不自由なく、ここまで
俺を育ててくれた母さんには感謝しかない。



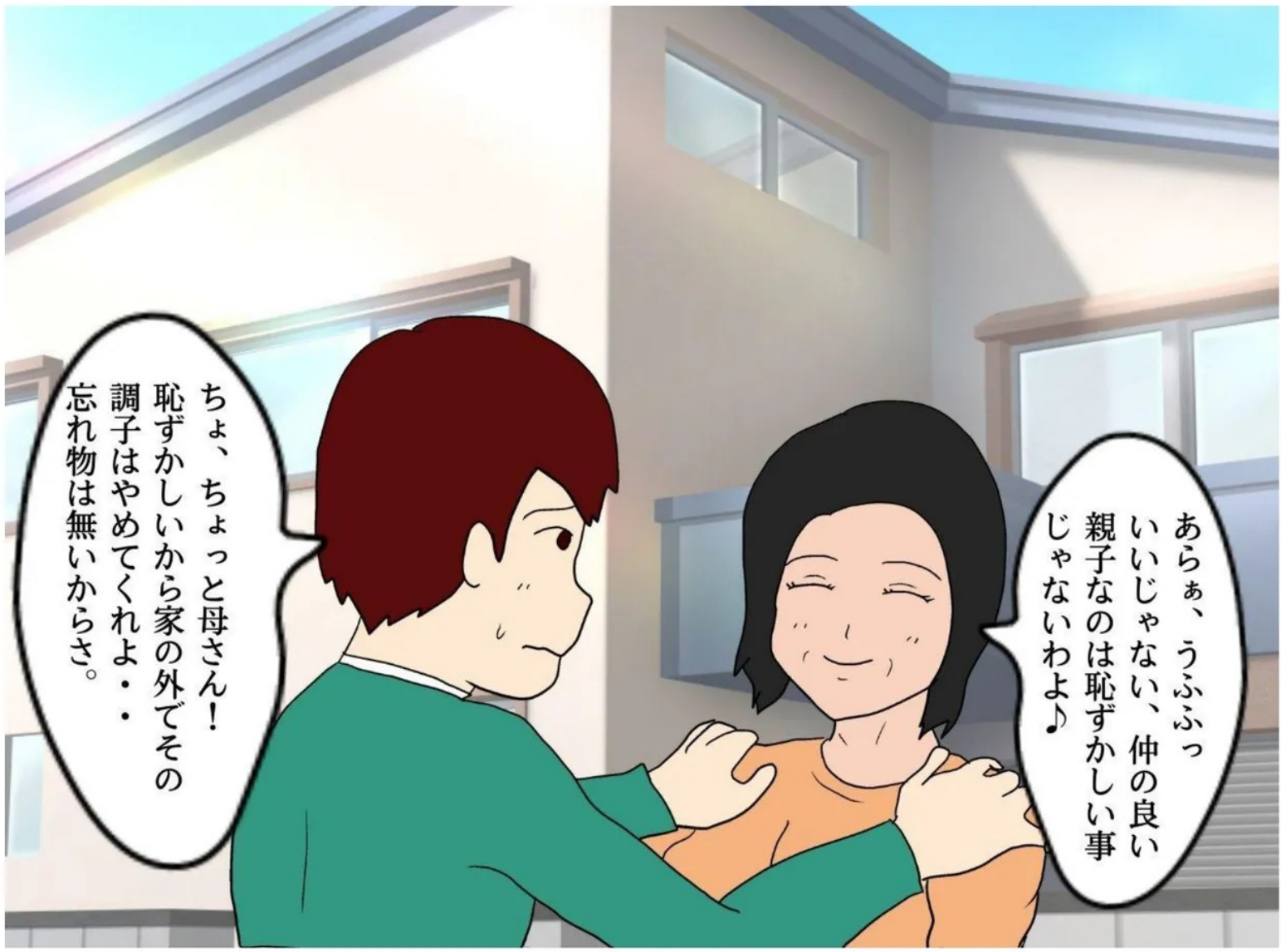
そんな恵まれた環境で育っているという自覚はあるけれど、悩みが全く無いってワケじゃないんだ。

年頃の学生が必ず抱く悩みだとも言えるし、普通の人は絶対に味わうことの無い悩みだと言えるそれは……



雄ちゃん、ちょっとお♪
お母さんにおはようも言わない
で学校行くのお？
忘れ物はなあい？





あらあ、うふふっ
いいじゃない、仲の良い
親子なのは恥ずかしい事
じゃないわよ♪

ちよ、ちよっと母さん！
恥ずかしいから家の外でその
調子はやめてくれよ・・・
忘れ物は無いからさ。

そう、この母さんこそが俺の悩みなんだ。
息子である俺を愛してくれてはいるんだけど、
少し行き過ぎというか何というか・・・戸惑って
変な気持ちになってしまうことがある。

母さんは雄ちゃんが一番大切
で大好きなんだから♡
ね、今日もお勉強頑張ってきて
ちょうだいね♪



うーん、今朝の母さんも
可愛かったなあ・・・
俺のこと大好きって・・・
そういう意味じゃないの
分かってるんだけど。
ドキドキしちゃうよ。

今週の子定

12日(日)	
13日(月)	学年集会(1・2・3)
14日(火)	ジョギング大会
15日(水)	
16日(木)	
17日(金)	
18日(土)	



失礼なやつ・・・
なんだよじゃないわよ

今日一緒に帰ろうって約束、
忘れてないでしょねっ!?

おっ、おう。
わ、忘れてねーよ・・・



そして放課後……

ねえ、雄太……
あのさあ雄太って……

なんだよ、何かあるなら
はっきり言えよ。
マナミらしくねえな！





今、好きな人いるの？
あ、あたしさあ、あんたの
こと嫌いじゃないんだよね♪

いやっ、い、いないけど！
てか、なんだよ、それっ。
なんか変だぞ、お前・・・

あたし、彼氏と別れたばかりで男居ないからさー・・・

ハッ
サッ

も、もうっ、鈍いわね！
ほらっ、見なさいよっ！





うちさ、今日は親いない
んだけどおゝ..
来たりしちゃうう？♡

え...？あ、ああ..
い、行ってやってもいい
けどさ..

マ、マナミっ・・・お前、
こ、こんな凄いこと彼氏
としてたのかよっ・・・

う
わ
あ

ちゅっ

んっ・・・ううっん・・・
雄太あ、雄太のチンポっ
すっごくおっきいいい





い、いいのか？
セックス・・・本当に俺が
セックスできるなんて・・・

ふふっ、雄太って童貞
っしょ？ねえ・・・、
セックスするう？

えっ？

じゃあ、挿入るよぉ♪
えっ？はっ？ちよっと...
な、なんで萎れて...

1にわ...



わ、わりい・・・な、なんか、
そのさ、いざセックスって
なったら・・・

急に母さんの顔が頭に浮か
んできて・・・ほ、本当にこれ
でいいのかって・・・





な、なによ、その言い訳っ！
せっかく童貞奪ってあげよう
と思ったのにっ！

母さんとかマジキモっ！
じゃあ、母親とやってろよ！
帰れっ！もう帰ってよ！



マナミの言うとおりだ・・・
情けなく萎えたうえに母さん
とか口走って・・・
俺、おかしいのかな・・・



あら、雄太。おかえり。
遅かったのねえ・・・

ただいま・・・

A cartoon illustration of a woman with short black hair, wearing an orange long-sleeved shirt and orange pants. She is standing in a kitchen, facing away from the viewer but looking back over her shoulder. Her buttocks are disproportionately large and rounded. The kitchen has light-colored wooden cabinets, a white countertop, and a grey refrigerator on the right. A rice cooker sits on the counter. Two speech bubbles and two sound effects are present.

疲れてる雄太が喜ぶように
美味しく作るからね♡

ね、待ってて、
夕食作るから。

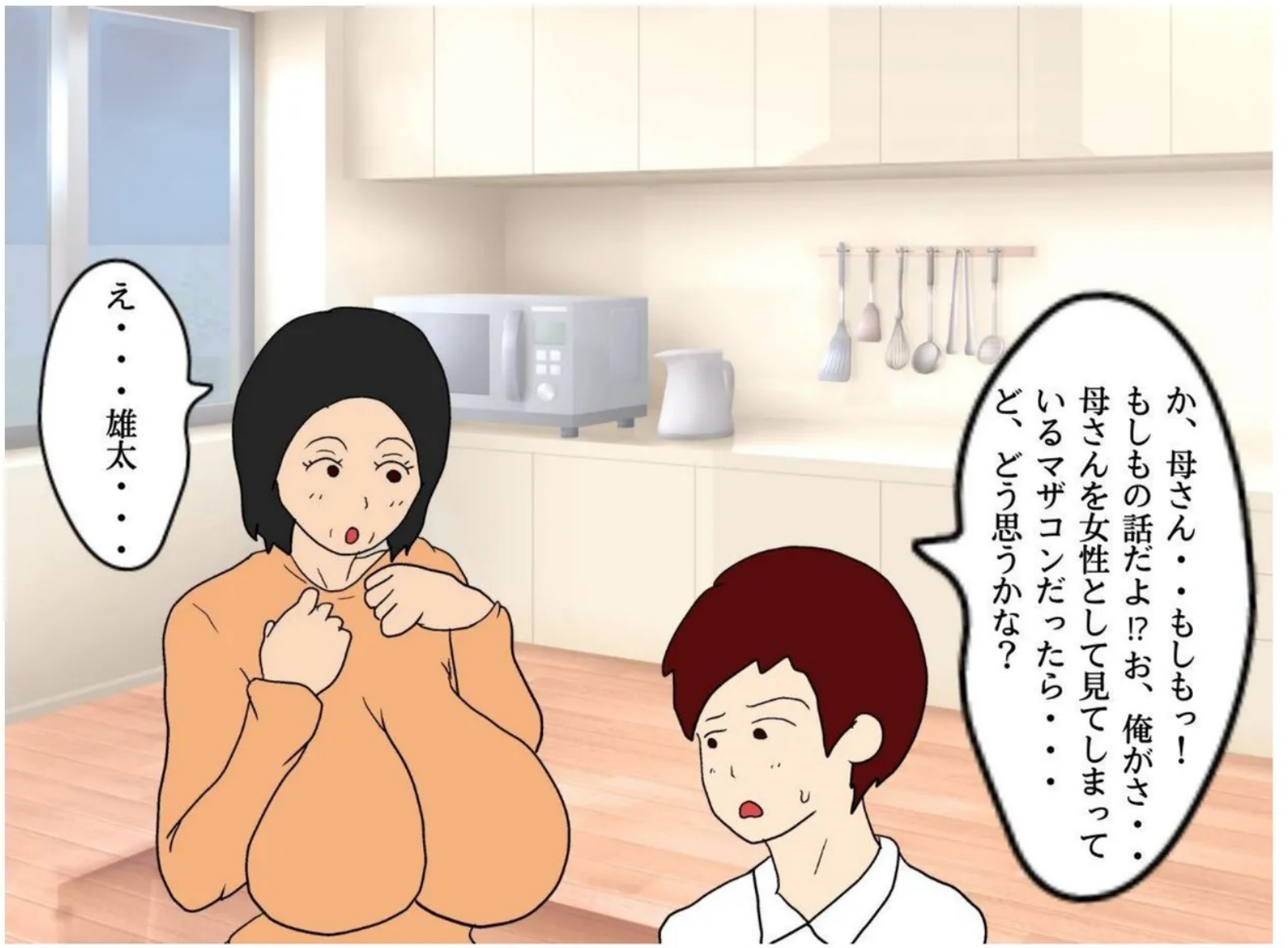
むちっ

むちっ…

落ち込んで帰ってきた俺を優しい言葉と笑顔で
迎え入れてくれた母さん。
そんな母さんの暖かさに触れて気持ちが少し軽
くなるとともに……



マナミ相手には反応しなかった自分の股間がな
ぜだか激しく勃起あがっていた。
母さんの心とその柔らかさそうで肉感的な身体に
俺は知らず知らず夢中になっていたのだと気付
いてしまった。



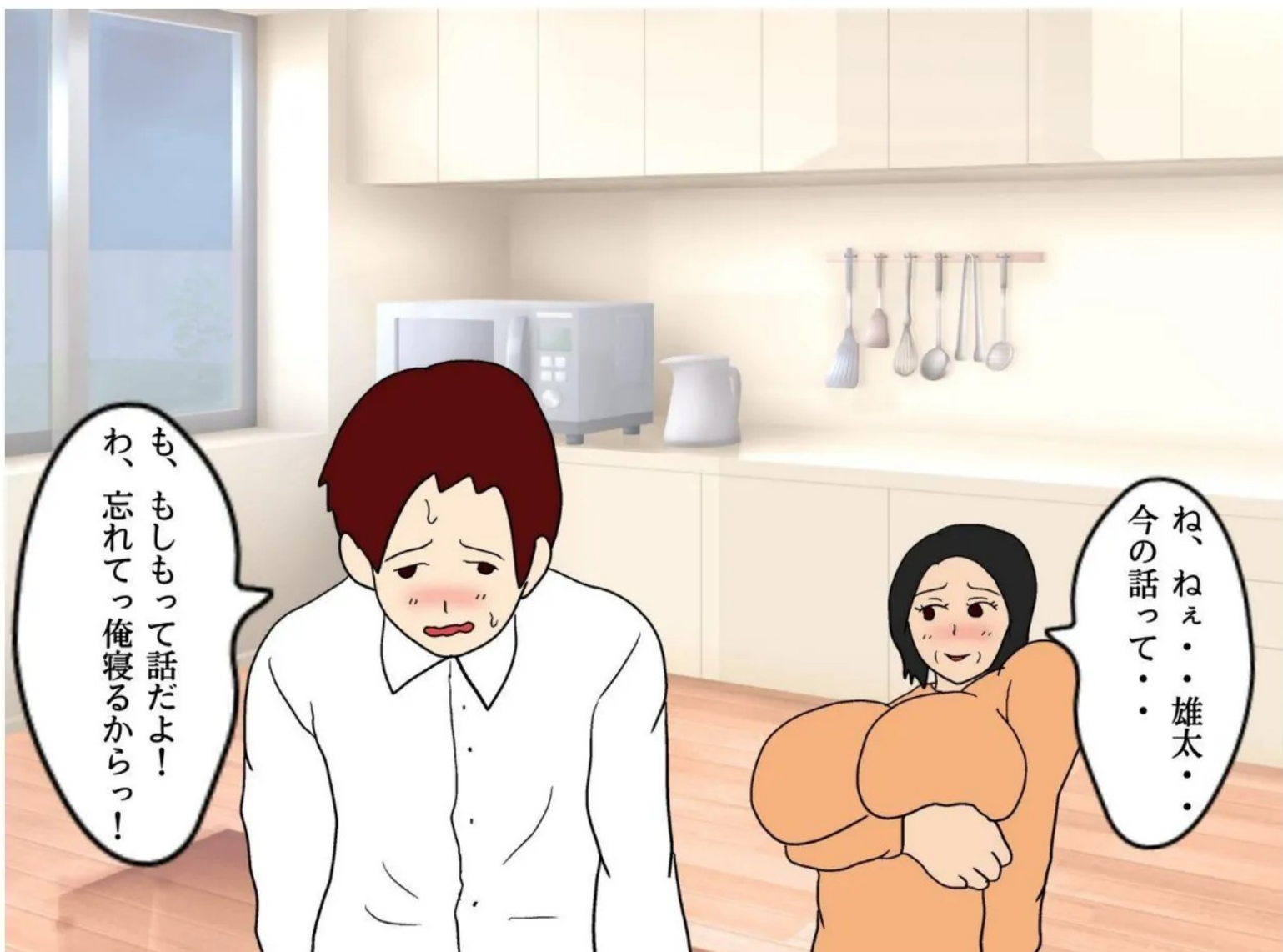
え・・・雄太・・・

か、母さん・・・もしもっ！
もしもの話だよ!? お、俺がさ・・・
母さんを女性として見てしまっ
ているマザコンだったら・・・
ど、どう思うかな？

もし、雄太がそんな子だったら・・・
母さんは・・・とっても嬉しいわ♡
だって、一番大好きな息子からそんな
風に思われるなんて、幸せ以外の何者
でもないじゃない。



うふふっ・・・
恋愛なんてもう忘れちゃった
母さんが息子に求められたなら・・・
本当はいけないことでも男と女の恋愛
まできつと踏み込んでうわねえ♡



も、もしもって話だよ！
わ、忘れてっ俺寝るからっ！

ね、ねえ・・・雄太・・・
今の話って・・・

ああ・・あの子ったら
突然あんなこと言って。

身体が熱くなっちゃったわあ♡
ふふふっ、あとでどういふこと
か、ちゃんと聞かないとね・・



か、母さんっ、さっきの
アレっ、本気なのっ!?

あんなの聞いたら俺っ・・・
もう我慢できなくなるよ!
母さんを・・・本気で・・・

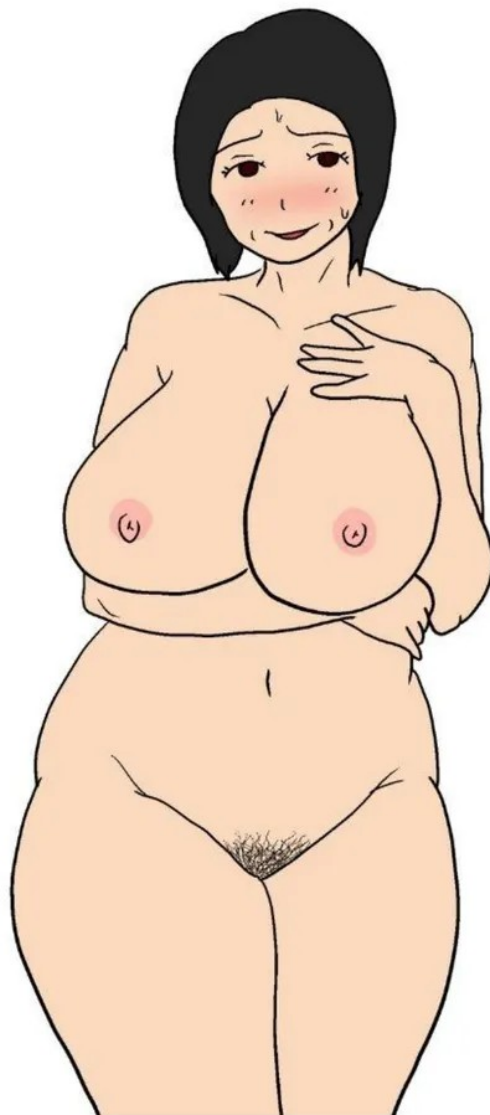


雄太・・・母さんの気持ちは・・・
嘘じゃないわよ・・・

え、はっ!?
か、母さんっ!?



心配で見に来たの・・・
そしたら雄太が私のこと
で、おちんちんを・・・



母さんがさっき言ったこと、
本当の気持ちよ・・・
雄太も・・・同じ気持ちなら・・・



雄太、母さんね・
言われて気付いたの。もしか
したら雄太のこと男としても
大好きなのかもって・・

か、母さん・・お、俺も本当は
母さんのことが・・
で、でも俺たち実の親子だし・・

ふふふっ・・・で、でもここは・・・
雄太のおちんちんはそんなの関係
ないって・・・母親相手にこんな
勃起してるじゃないの・・・

ビクッ

ビクッ



も、もう、こんなに美味しそうな
チンポっ・息子チンポでも我慢
なんか出来るわけないわぁ・
・んっぐっ・うんんっ

じゅぽあー!!

うわぁっ!
か、母さん!

夢を見ているようだった。母さんが、実の母親が俺のチンポに夢中でしゃぶりついていて。マナミにされた時とは比べ物にならない興奮と快感に包まれて俺の意識は朦朧としていた。

久しぶりのチンポお・・・
おいひいいわああ・・・



はぁあんっ・・すごぉ♡
息子のチンポ汁浴びてるう♡



うわぁぁあつ、ごめん！
母さんっ、出るよぉ！！



ねえ・・・今度は雄太が食べて
みる？母さんのこと・・・

雄太のオチンポ汁う・・・
母さん沢山たべちゃった♡

お、おいしい？好きっ？
お母さんのオマンコお・・・



はあああゝ・・・っん、
げ、現実じゃないみたいよお
雄太が私のオマンコにっ・・・
むしゃぶりついてええっ

雄太 ああ、分かる？
先っぽ、お母さんの入り口に
当たってるのよお・・・

このまま入っちゃったら・・・
もうお母さんと雄太は普通の
親子には戻れないの・・・

どいっ

ほらあ・ズブズブってえ
雄太のチンポが母さんの
オマンコに入ってくるう
親子で近親相姦の変態交尾
が初体験でもいいのお？

勿論だよっ、母さん！
凄い、おまんこの感触っ
これがセックスなんだね！？



あああんっ、すごいん！
雄太あ、雄太あ、分かるう！
母さん達っ親子で生セックス
してるうう、雄太は母さんで
童貞捨てたのよおお！？

母さんっ、すごい！
こんなに気持ちいいんだねっ
俺、母さんとずっと・・・
ずっとこうしてたいよっ

ズッ

ズッ



ひいっっ...
な、膣出しいい!?
母親のマンコにい
容赦なく出すのお!?

あうッ

びゅるっ

母さんで初めてのセックスを体験した俺はその日以来、より一層母さんの温もりと肉体に夢中になっていった。



母さんもまたそんな俺を受け入れて積極的に愛を確かめ合うようになっていった。
二人暮らしのこの家は仲の良い親子が幸せに暮らす空間ではなく、肉欲にまみれ親子で禁断の情交を繰り返す二匹の獣の住処となった。

もう俺は母さん以外の全てがどうでもよくなつていった。母さんと愛し合うことだけが俺の人生の全て。この卑猥で頭がおかしくなるほど興奮する背徳の交わりに一生溺れていたい。



さあ、雄太・・・もっといやらしく舐めなさい・・・。そうしないと、オマンコさせてあげないわよ？
ふふっ、雄太はずっと母さんだけの恋人なんだから・・・

朝も夜もなく親子で避妊もせず欲望のまま愛し合う狂った生活はやがて一つの節目を迎えた。母さんが俺の子をお腹に宿したのだ。決して許されない命を目の前に。俺は絶望とこれまで以上の興奮を感じながら気を遠くしていた・・・。



うふふふっ、これで雄太と母さんの愛は永遠のものになったの・・・もう、これでずっと離れられなくなったわねえ♡

END